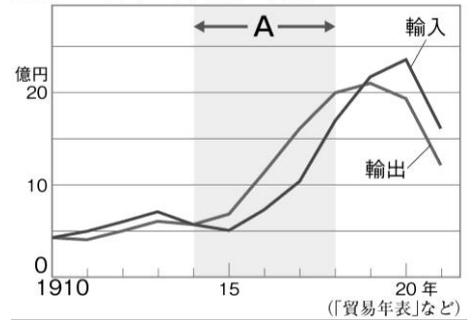


☆教科書，資料集などを使い，問題を解いてみよう！

大正デモクラシーと政党内閣の成立・広がる社会運動と普通選挙の実現

◆「資料」の A の時期における貿易額の推移の特徴を読み取り，このように推移した理由を，当時の世界情勢にふれながら，書け。

「資料 1」 日本の貿易額の変化



◆1918（大正 7）年，米の安売りを求める米騒動が起こった理由を書け。

◆「資料 2」を見て，原内閣はどのような特色を持った内閣であったか，説明しなさい。

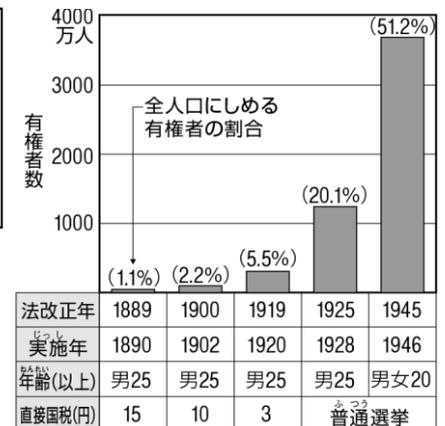
「資料 2」原敬内閣の閣僚

職名	氏名	出身
総理	原敬	立憲政友会
外務	内田康哉	外交官
内務	床次竹二郎	立憲政友会
大蔵	高橋是清	立憲政友会
陸軍	田中義一	陸軍中将
海軍	加藤友三郎	海軍大将
司法	原敬(兼任)	立憲政友会
文部	中橋徳五郎	立憲政友会
農商務	山本達雄	立憲政友会
通信	野田卯太郎	立憲政友会
鉄道	元田肇	立憲政友会

◆「資料 3」を見て，次の問いに答えなさい。

①1925 年の法改正で，年齢の制限が「男 25」のまま変わらないにもかかわらず，有権者数が大幅に増加した理由を，説明しなさい。

「資料 3」有権者数の変化



②1925 年には，次の法律も制定された。この法律の名称を答えなさい。

第 1 条 国体を変革し，または私有財産制度を否認することを目的として結社を組織し，または情を知りてこれに加入した者は，十年以下の懲役または禁固に処する。

答.